

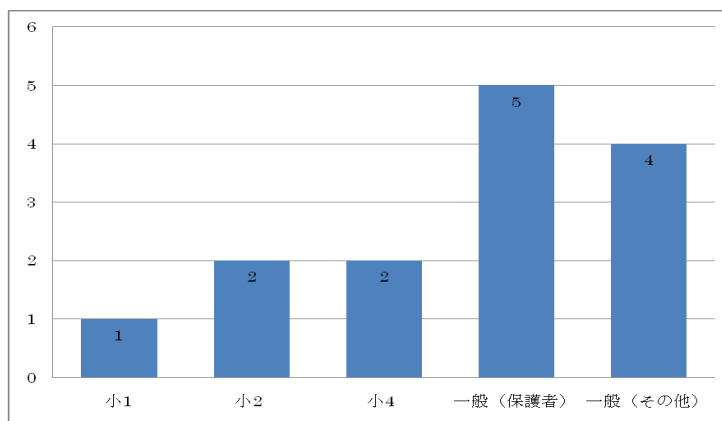
「科学 Try アングル岡山」 行事等 報告書

行事名	科学大好き岡山クラブ 倉敷会場 (H21 年度第 4 回) 里山フィールドワーク		
担当部門・機関	倉敷芸術科学大学		
開催日時・期間	9月26日(土) 9:30~15:30	会場	倉敷芸術科学大学 サロン・ド・ヴァンホー

《概要》

自然と人は昔からどのようにかかわっていたのか、里山を歩き自然を観察し、野山の保全について学びました。保全活動の重要性とともに、竹林から切り出した竹を有効活用する術を体験し、自然の営みと共に循環を作る人との関わりについて理解を深めることができた。

《参加者》14名



《報告事項》

◆当日のスケジュール

- 9:30 倉敷会場集合 (倉敷芸術科学大学 多目的室)
- 9:45 オリエンテーション



事務局より講師の河邊教授の紹介、スケジュール、フィールドワークに関する注意事項、配布資料等のアナウンスが行われた。(参加者 14 名)

- 10:00 倉敷会場出発→サロン・ド・ヴァンホー着 (倉敷市西坂 1088)



本学の炭焼き施設を有する古民家を再生した施設。施設の西側に広がる野山が今回のフィールドワークの中心となった。

講師の本学河邊教授より外部講師の紹介がなされた。
 自然探索指導・炭焼き指導 野村将大氏
 炭焼き指導 中田孝臣氏
 施設提供・補助内山貞和氏

野村講師より、里山ウォークに関するコースと、ウォーク時の注意事項等の説明がなされ、出発となった。

「科学 Try アングル岡山」 行事等 報告書



●10:40 里山ウォーク。自然観察。植物採集（炭作り用）

里山に生息する様々な植物の特徴の説明とともに、整備された里山の様子を観察した。

人が定期的に山に入り、植物の生育を管理することが、里山保全に欠かせないことを理解し、自然を正しく循環させることの重要性を体感した。

山頂付近では、ウラン鉱山であった歴史をうかがわせる縦穴跡の探検や水晶の発掘など行った。



里山を下山後、中田講師による竹細工のお土産が参加者に手渡された。竹林を整備することによって伐採された竹は、様々な形に変わり再利用されることを遊びの中から体感できたのではないのでしょうか。

●12:00 昼食



●12:30 炭焼き体験

伐採により切り出した竹を、炭焼にするため、参加者全員で形を整え、炭焼き釜へ。初めての体験に子どもたちは大変興味を示していた。

また同時並行して、炭焼き釜を使用せず、簡易的に炭焼き体験ができる「華炭（はなずみ）」作成を行った。

野村講師より、「華炭」になるまでのメカニズムの説明がなされた後、参加者が持参した材料や、里山ウォークで採集した植物を空き缶に並べ、「華炭」完成までの約2時間、火力の調整や、空き缶から噴き出る煙の量を観察した。

炭焼き釜へ入れた竹が、竹炭になるまでには時間を要するため、希望者は後日直接施設に来ていただくこととなった。華炭は、予定時刻にほぼ完全に炭になり、完成となった。



以上、里山フィールドワークを通して、自然環境における植物の役割について学ぶことができ、また、里山保全活動は、人が自然と共存するために必要なことであり、その一部として、竹林整備の重要性について、理解することができた。

全体を通して時間的に厳しいスケジュール構成となったこと、屋外実習での十分な水分補給ができる体制を整えることが、次回への反省点となった。

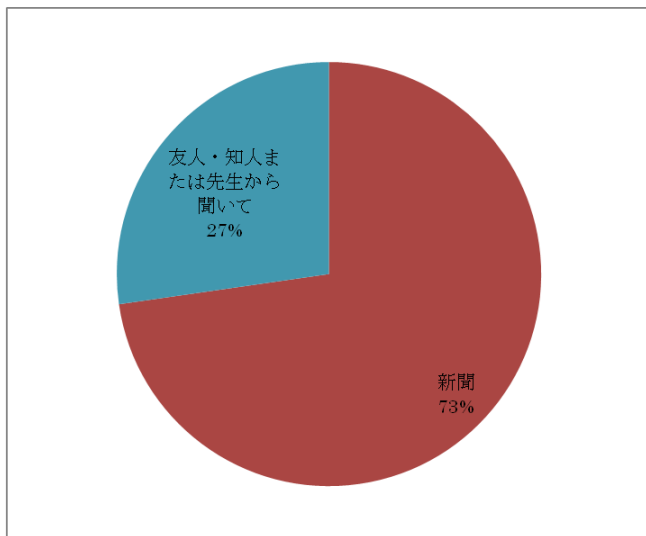


アンケートの集計結果は以下のとおりである。

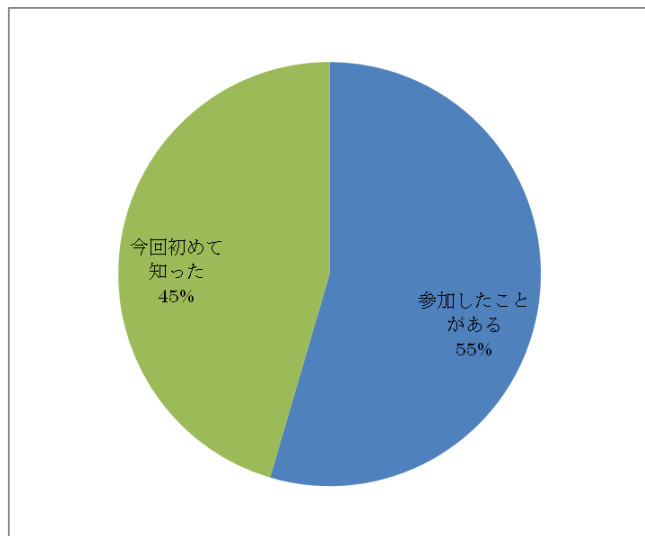
「科学 Try アングル岡山」 行事等 報告書

《アンケート集計結果》参加者合計：14名 内アンケート回収 11名（回収率 78.6%）

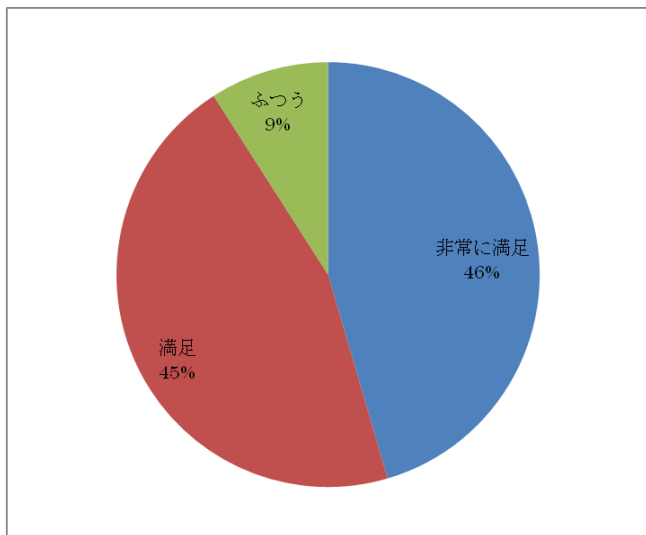
1. 【里山フィールドワーク】の開催をどのようにして知りましたか？



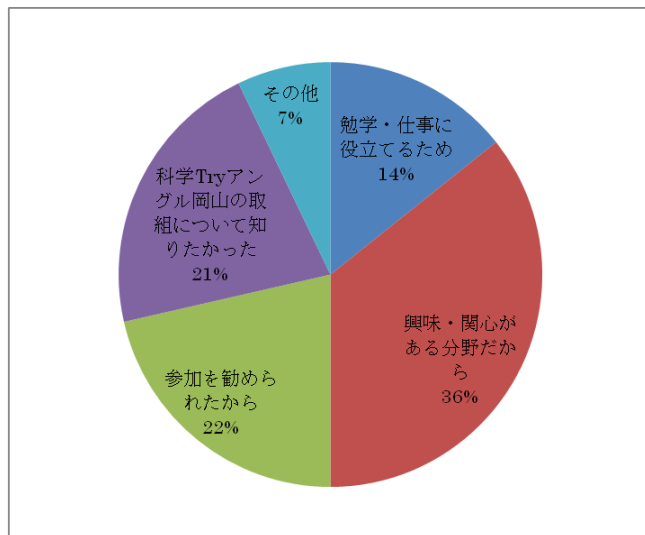
2. 「科学 Try アングル岡山」の活動について、ご存知でしたか？



3. 【里山フィールドワーク】に参加されてみて、いかがでしたか？



4. 参加された理由に近いものをすべて選んでください。



5. 【里山フィールドワーク】の内容について、ご感想をお聞かせください。

- 炭焼きが参考になった。
- 先生方の熱心な活動に頭の下がる思いです。これからもますますお身体に気を付けられて頑張ってください。本日は本当にありがとうございました。
- 大変楽しかったです。
- 久々に汗をかいて、とても楽しかったです。けど、疲れました。
- 楽しかった。
- 子供たちも楽しく学習出来てよかった。
- 長い時間、いろいろな内容のものを企画してもらい楽しめました。

6. 今後、「科学 Try アングル岡山」の事業で行ってほしいもの、参加してみたいもの、その他期待すること等、自由にお聞かせください。

- 今後も参加したいです。
- 低学年でも参加できるなどれば嬉しいです。
- 大学の施設を使用した体験講座。